

*** 大阪きょうだいの会《例会》のご案内 ***



(2022年7月16日)

- 大阪きょうだいの会は障害児者の兄弟姉妹（きょうだい）の自助グループです。きょうだい当事者が主催し、参加者一人一人が抱えている問題を仲間のサポートを受けながら、自分自身で解決の道を探っていくことをめざしています。活動の柱は例会の開催ですが、他に、セミナーなどの啓発活動、全国・関西各地のきょうだい会との交流活動なども行っています。（2011年1月発足）
- 例会はきょうだいの「語り」と「傾聴」の場です。「きょうだい」という言葉で自分の体験や気持ちを語る場、自分の生きづらさ・悩み・不安などを仲間に話し・聴いてもらう場、もやもやとした感情を吐き出す場、気づきの場・・・でありたいと願っています。

例会の参加対象は原則として18歳以上の「きょうだい」だけに限定しています。当事者以外の人（親や専門家、評論家的な人など）がその場にいると、なかなか「本音」を出しづらいからです。親の立場の方にとっては納得しづらいことかもしれませんが、親子関係で悩み、生きづらさを抱えて苦しんでいるきょうだいが想像以上にいます。

日曜日の午後に大阪市内の公共施設で例会を開催しています。毎回の参加者は10人前後で半数は初参加の方で、年齢構成は10代～70代まで幅広く、どちらかといえば女性が多いです。

お互いの顔を見ながら語り合っていると、言葉以外の表情やしぐさ、対話の微妙な間合いが「きょうだいあるある話」を盛り上げ、豊かにしてくれています。異世代の人たちと議論や情報交換をするなかで学ばされる事、気づかされる事、刺激され勇気づけられる事がたくさんあります。
- 疫病や戦乱、貧困などで世の中が不安定になり互いの分断化と対立が進む中では、様々な問題を抱えたマイノリティ（社会的弱者）が孤立せずにその人なりの「普通の暮らし」を維持することがますます難しくなりそうです。

障害児者家族の内外から「お互いの傷をなめあってどうするのだ・・・」という声が時おり聞こえてきますが、当事者（親・障害のある兄弟姉妹・きょうだい）の自尊感情が大切にされ育まれるような居場所づくりがますます必要だと思えます。きょうだい会もそのひとつです・・・。

あなたのご参加をお待ちしております。親の立場の方はきょうだいの背中をそっと押してあげてください。

*** 例会のご案内 ***

- 第70回例会 2022年8月28日（日）、国労大阪会館2階第1小会議室。最寄駅＝JR天満駅から徒歩5分。
電話＝06-6354-0661
- 第71回例会 2022年10月30日（日）、国労大阪会館2階第1小会議室。最寄駅＝JR天満駅から徒歩5分。
電話＝06-6354-0661

★いずれも13時15分～17時。参加費1,000円。

★ご連絡は世話人（溝上090-2384-9368）まで、ショートメール又は電話でお願いします。
当日参加も歓迎です。